

4 都市との絆を深める

【施策展開の方向性】

「山里の魅力」を戦略的に創造・発信するとともに、矢作川や豊川の各流域圏交流の普及・拡大や三遠南信の連携強化、名古屋などの大都市との交流の活発化とあわせて交流居住や移住・定住の促進に積極的に取り組み、多様な主体の連携のもとに都市との絆を深めていく。

【主な取組】

(1) 戦略的な情報発信

- テレビ・ラジオ番組の制作のほか、「山里の魅力創造社」WEBサイトを継続発展的に活用していくとともに、マスコミや旅行会社向けプレスツアーの開催、外国人や女性のニーズを踏まえた地域資源の磨き上げを図っていく。(振興部)
- 産業観光、武将観光、街道観光、なごやめし等の食文化、ポップカルチャー等、本県ならではの観光資源の磨き上げの取組とも連携を図りながら、ターゲットや手法等に工夫を凝らした効果的な情報発信に取り組んでいく。(振興部)

(2) 移住・定住の促進

- 三河の山里サポートデスクにおいて、愛知県交流居住センターやNPO法人「ふるさと回帰支援センター」の取組、市町村の空き家バンクなどの定住促進施策と連携を図りながら、移住促進や農林就業支援、起業支援、集落支援、誘客促進等に取り組んでいく。(振興部)
- 国の「移住・交流情報ガーデン」と連携し、地域への就職と暮らしに関する情報を一元的に収集・提供する「地域しごと支援センター」を設置・運営し、地域が必要とする人材を大都市等で掘り起こし、移住・転職を促進していく。(産業労働部)
- 都市部の大企業等において実績のある30代から50代の人材と県内中堅・中小企業のマッチングを促進するため、人材を雇用しようとする企業に寄り添った支援を行う。(産業労働部)

(3) 流域圏等の連携強化

- 矢作川や豊川の流域圏においては、水源林保全活動や地域間交流など引き続き上流域と下流域が連携した取組を進めていく。
特に豊川流域では、社会的及び経済的に一体性の強い地域特性を持っていることから、既存の取組をベースとしながら、一層の連携強化を図っていく。(振興部・東三河総局)
- 愛知県交流居住センターや「おいでん・さんそんセンター」(豊田市)などと三河の山里サポートデスクとの連携体制を強化し、三河山間地域の各種の地域づくりの取組に関して情報共有を図りながら、広域的に展開していく。(振興部)

(4) 大都市等との連携推進

- 三河山間地域の魅力を様々なメディア等を活用してPRするとともに、名古屋市や浜松市などの大都市発着のバスツアーなどによる誘客を促進し、交流人口の拡大を通じた経済活動の活発化にもつなげていく。(振興部)
- 農林水産品の販路拡大や特産品開発、森林や景観の整備、伝統芸能の継承など、山里ならではの地域づくりの取組に対して、大学、NPO、経済団体、企業等が、高い専門性や独自のコネクションを活かして参画するためのマッチングの場づくり等を進め、各取組の拡大・発展を図っていく。(振興部)

(5) 多様な主体の連携促進

- 観光、産業経済、環境、防災、基盤整備など幅広い分野において、大学、NPO、経済団体、金融機関、報道機関、企業、住民等の都市部で活躍する様々な主体が活発に参加し、連携を深めるための機会を拡大し、山里と都市の協働によるオープンな地域づくりを進めていく。(振興部)

山里の魅力創造社によるPRキャンペーンの実施状況

三河山間地域誘客促進事業の取組の一つとして、プロジェクト推進組織「山里の魅力創造社」をバーチャルに立ち上げ、テレビ、ラジオ、雑誌、駅広告、WEB、イベント、PR素材等による三河山間地域のPRキャンペーンを展開。

- ・CBCテレビ「旅MAX」(全12回)・CBCラジオ「土曜天国」(全12回)
- ・ホームページ公開(7/1~)・特産品プレゼントキャンペーン開始(7/7~)
- ・ふるさとキッチンカー出店 など

山里の魅力創造社



CBCテレビ「旅MAX」(全12回放送)



雑誌掲載(「自遊人」始め5誌)



三河の山里ふるさとキッチンカー
(6種のコッペパンサンド等を販売)



特産品プレゼントキャンペーン(鳳来牛など)